

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 30 日 (2017.3.30)

【公開番号】特開 2015-183106 (P2015-183106A)

【公開日】平成 27 年 10 月 22 日 (2015.10.22)

【年通号数】公開・登録公報 2015-065

【出願番号】特願 2014-61243 (P2014-61243)

【国際特許分類】

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 5/44 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 163/00 (2006.01)

C 2 5 D 13/06 (2006.01)

C 2 5 D 13/10 (2006.01)

C 0 8 G 59/50 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 5/44 A

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 163/00

C 2 5 D 13/06 B

C 2 5 D 13/10 A

C 0 8 G 59/50

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 27 日 (2017.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 1 4 】

製造例 5 - 2 電着塗料用顔料分散ペースト (2) の製造

ジオクチル錫オキシドを用いないこと以外は、製造例 5 - 1 と同様にして、電着塗料用顔料分散ペースト (2) を製造した。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 2 0 】

実施例 1

ステンレス容器に、イオン交換水 2 0 6 5 部、亜鉛化合物 (A 1) としての、製造例 6 - 2 の亜鉛濃度 1 0 % の酢酸亜鉛 8 部添加した。次に製造例 4 - 2 の電着塗料樹脂エマルジョン (E m 2) 1 6 0 0 部と顔料 (製造例 5 - 1 の顔料分散ペースト 1) 3 2 7 部を添加しその後 4 0 で 1 6 時間エージングして、電着塗料組成物を製造した。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 2 7】

実施例 2 ～ 1 0 および比較例 1 ～ 4

下記表に示す配合に変更したこと以外は、実施例 1 と同様にして、電着塗料組成物を調製した。得られた電着塗料組成物を用いて、実施例 1 と同様に塗装を行い、電着塗装板を得た。

なお、下記表に示す電着塗料組成物の配合量において、亜鉛化合物（A - 1）およびビスマス化合物（A - 2）の配合量は、電着塗料組成物 1 0 0 質量部に対する相対比（化合物質量）であり、樹脂エマルジョンおよび顔料の配合量は、電着塗料組成物 1 0 0 質量部に対する各成分の固形分濃度である。